

特集 三重大学医学部附属病院

変わる!

～未来の病院はこんな病院～

最近の医学・医療って、すごいスピードで進歩しているよね。そこで、三重大学医学部附属病院は、そんな時代の波をいち早くキャッチし、よりよい医療を実践するために、大規模な再開発計画を進めているんだよ。
 どんな病院になるか、知りたいでしょ？ 現在検討中の“変身計画”を、みなさんにご紹介するね！



未来はこんな病院に!!

基本理念

1. 患者様の信頼と満足が得られる最高・最良の医療を安全に提供する。
2. 地域医療に貢献し、医学・医療の国際交流に努める。
3. 未来を拓く臨床研究を推進し、次代を担う優れた医療人を育成する。

■ 建設計画

○構造・階数

I期(病棟・診療棟)	鉄骨鉄筋コンクリート造	11階建て (設備階を含め12階建て)
II期(診療棟)	鉄筋コンクリート造	4階建て
III期(外来棟)	鉄筋コンクリート造	4階建て

○病棟数 731床(現在) → 685床(計画)

○多床室 6床室中心 → 4床室中心

○個室率 約10% → 約31%

■ 整備期間

平成18年度	病棟一部改修、埋文試掘調査、基本設計
平成19～22年度	4年間 I期(病棟・診療棟)
平成23～25年度	3年間 II期(診療棟)
平成25～29年度	5年間 III期(外来棟)

(最後の1年間は外構・低層部取り壊しのみ)

*なお工事期間中も入院・診療は従来通り行う予定です。

A 患者さん中心の病院

安心・安全な治療が最適な環境で受けられる、**心和む病院**です。現在6人部屋中心の多床室が4人部屋中心となり、個室率も30%以上に。プライバシーも保たれ、IT機器も十分に利用できます。



患者学習センター

A 十分な廊下幅のホスピタルストリート(メインストリート)

外来棟

正面入口→

A 明るく開放感のある待合を備えた各専門診療外来、各種特殊外来を効率的に配置

A 患者さんや家族からの各種相談を行う「医療福祉支援センター」

B 最先端医療が安全に受けられる病院

三重県で唯一の特定機能病院として、**患者さんに満足していただける高度先進医療**を実践します。最先端の癌治療、移植治療、血管内治療などが安全に行われます。そこで働く職員にとっても、やりがいのある病院です。



A 患者さん・面会専用エレベーター3台、ベッド搬送専用エレベーター2台を設置

A 移動効率をよくするために三角形の病棟に

E 最上階にレストラン

病棟・診療棟

E 各病棟フロアの海側に食堂を配置

B ICU・HCU等からなる「総合集中治療センター」

↑救急入口

A 館内の安全を守る「防災センター」

E 立地条件を生かした病院

全国の国立大学附属病院のなかで、唯一**海辺にある病院**で、伊勢湾が一望できます。また、山側では鈴鹿山脈の眺望が楽しみ、患者さんには心地よい療養環境を提供します。



C 次世代の人材育成ができる病院

地域の方々から**信頼される医師を育てる**ための教育を行う、良医を育てる病院です。看護師、薬剤師、検査技師、医療事務員などの教育も充実しています。



D 職場環境の優れた病院

全職員がチームとして連携を保ちながら、**楽しく働ける病院**です。セキュリティによる安全確保や各病棟フロアにカンファレンス室、シャワー付当直室等を配置するなどのアメニティの向上を行います。



いよいよ平成19年度から第1期工事が始まります。ゴールは平成29年度の予定。ご期待下さい!!

